

平成 29 年度 第 2 回検定試験問題
フィットネスクラブ・マネジメント技能検定
2 級

実施日：平成 30 年 2 月 25 日（日）

試験時間：60 分

注 意

1. 本試験の問題は記述式です、全問で 100 点満点です。
2. 筆記用具、電卓の持ち込みが認められています。
3. 法令等に関する問題については、特に指示のない限り、平成 29 年 4 月 1 日現在施行の法令等に基づいて回答して下さい。
4. 解答はすべて所定の解答用紙に記入してください。

受験番号
下 6 桁

--	--

--	--	--	--

氏 名

--

平成 30 年 2 月

問1 次の品質管理におけるスタジオに関する設問に答えなさい。

- (1) スタジオプログラムを予算内で以下の条件で配置した場合の利用区分毎の週当たり最多本数が何本になるか下表A、B、Cの答えを解答欄に記述しなさい。

- 条件1. 週当たりのインストラクター代予算総額を300千円以内とする。
条件2. 利用区分を平日午前、平日午後、平日夜、土日の4つとする
条件3. プログラム本数は利用区分毎の利用者比率に比例させる。
条件4. プログラムのインストラクター代は6千円/1本とする。
条件5. 税金は考えないものとし、本数は整数とする。

利用区分	利用者比率	プログラム本数/週
平日午前	26%	(A)
平日午後	14%	(B)
平日夜	30%	(C)
土日	30%	Cと同じ

- (2) 上記の条件1～5を変えずに週2本のみインストラクター代1万円/1本を設定する場合には、週の最多プログラム数は(D)本になる。
また、この場合の平日午前の週当たりの本数は(E)本(少数点以下切捨てる整数)になる。D、Eの答えを解答欄に記述しなさい。

問2 売上・収益管理において、損益計算書を理解することは重要である。損益計算書に関する下記の空欄（A～J）に適切なものを下記の語群から選び、解答欄に記述しなさい。
（単位は百万円）

$$(1) \text{売上高} = (A) + (B)$$
$$\text{販売費及び一般管理費} = (A) - (C)$$
$$\text{経常利益} = (C) + (D) - (E)$$

(2) 売上高200 A 180 B 20 C 30 D 10 E 20 の場合の経常利益額は（ F ）
対売上経常利益率は（ G ）% となる。

(3) フィットネスクラブの費用の中で会員数や利用者数によって特にコントロール
が必要な費目は（ H ）（ I ）（ J ）の3つが上げられる。
以下の語群から選び、解答欄に記述しなさい。

【語群】

経費、賃料、営業利益、当期利益、資本金、現金、売上原価、利子、
テナント収入、営業外収益、繰越利益、売上総利益、営業外費用、減価償却費、
法定福利費、人件費、社員給与、広告宣伝費、5、15、10、20、30、50、
電気代、省エネ、水道光熱費

問3 施設・設備管理に関する次の空欄（A～J）に最も適切な語句を下記語群より選び解答欄
に記述しなさい。但し、BとDには同じものが入る。

厚生労働省基準では「プールの水質検査は（ A ）について少なくとも毎日
午前中（ B ）回以上及び午後（ C ）回以上の測定（このうち（ D ）
回は遊泳者数の（ E ）時に測定することが望ましい）を行い、水素イオン濃
度、濁度、過マンガン酸カリウム消費量、大腸菌及び一般細菌について（ F ）
1回以上の測定を行う事」と定められている。

また、プール水質基準では、水素イオン濃度は（ G ）値が規定されている。
プール水の消毒は原則として（ H ）剤等の消毒剤の連続注入によるものとする。
プールに独特の臭気は主にこの消毒剤とプール水により生じている。消毒剤には
通常は（ I ）を希釈して使用するが、この水溶液は強い酸性の物質と混ざると
有毒な（ J ）が発生するため、使用・保管には充分注意が必要である。

【語群】

PH、結合残留塩素濃度、遊離残留塩素濃度、最小、毎週、平均、次亜塩素酸ナトリウム、
2、3、4、1、毎月、ピーク、年、アルカリ、塩素、塩素酸カリウム、酸性、塩素ガス、
硫黄ガス、酸素

問4 雇用契約と請負・委任契約の違いに関する表と文章の空欄（A～J）に最も適切な語句を下記語群より選び解答欄に記述しなさい。

労働契約	請負・委任契約
会社は労働基準法上の「(A)」	会社は仕事の「(B)」
従業員は労働基準法上の「(C)」	働く者は民法上の「(D)」「受任者」
労働基準法、(E) 適用有り	労働基準法、(E) 適用無し
(F) 適用有り	(F) 適用無し
労働時間管理は (A) が行う	働く時間は契約の範囲で (G) が決定
会社は業務について (H) できる	会社は業務について (H) できない
休日、休暇、年休等法に基づき付与	契約の範囲内で休日等 (G) が決定
会社は従業員に支払うものは給料	会社は請負人・受任者に支払うのは報酬

上記の点を理解して、近年問題視されている (I) と称され、企業が (J) を逃れる違法性を排除することが求められている。

【語群】

取締役、命令者、使用者、非労働者、請負人、労働衛生法、安全確保法、労働安全衛生法、労働者、発注者、会社員、従業員、本人、職務命令、指揮命令、社会、健康、偽装請負、ブラック企業、税金、雇用責任、会社責任

問5. 以下は顧客管理における接客対応の事例である。このマネジャー（MG）の対応を読んで、クレームを解決する基本手順と照らし合わせて、対応の問題点を2つ（各30文字以内で）、また、それらに対する改善点を2つ（各52文字以内で）、解答欄に記述せよ。

お客様A 「プールのゆっくり泳ぐ+歩くコースで、2人並んで歩く方がいて泳ぐのに大変邪魔になる。プールの監視員も注意しないし、どうなっているのか」

MG 「他のコースへ移られてはいかがですか？」

お客様A 「他のコースは途中で止まってはいけなくて無理です。それに私ではなく並んで歩くのを止めさせるべきではないのですか」

MG 「わかりました。監視員からの注意を強化します」

3日後

お客様A 「先日、MGに話したプール内で並んで歩く方の件ですが、今日も何も変わっていない！支配人を呼んでください」

以 上

